

新宮市立医療センター改革プラン点検・評価について

平成 22 年度決算及び平成 23 年度決算見込みの状況について、下記のとおりご報告いたします。

1. 平成 22 年度決算について

収益面では、医師数の減に伴い患者数が減少したものの、平成 22 年 4 月より診療報酬が改定されたことや、地方交付税の病床割単価増に伴う繰入金の増加により、経常収益としては平成 21 年度に比べ、約 1 億 4 千万円の増収となりましたが、前年度に続き地域医療支援病院の承認基準を満たさなかったこと等により、改革プランでの計画額に対しては、約 1 億 6 千万円下回りました。

費用面では、患者数の減に伴い材料費が減少したものの、総合情報システムの保守委託料の発生等により経費が増加したため、経常費用としては昨年度に比べほぼ横ばいであったことから、改革プランの計画額に対しては、約 1 億 2 千万円削減することができました。

以上のことから、経常収支は昨年度より約 1 億 5 千万円改善され、特別損益差引後の純損益は、約 5 千 6 百万円の損失に留めることができたものの、改革プランでの計画額に比べ、約 4 千 5 百万円損失が拡大する結果となりました。

2. 平成 23 年度決算見込みについて

収益面では、平成 23 年 7 月に念願の地域医療支援病院に承認されたことや、一部の診療科において患者数が大幅に伸びていること等から、経常収益としては昨年度と比べ、約 2 億 1 千万円増加する見込みとなっており、改革プランの計画額とほぼ同額を確保することができる見込みとなっています。

費用面では、先述した診療科の患者数が増加したこと等により、経常費用が材料費を中心に昨年度と比べ、約 1 億 2 千万円増加する見込みとなっていますが、改革プランでの計画額との比較では、ほぼ同額程度の執行となる見込みとなっています。

その結果、経常収支は昨年度に比べ、約 9 千万円改善される見込みであり、改革プランで定めてあるとおり、経常収支比率は 100%以上となり黒字化を達成できる見込みとなっています。

3. 今後に向けて

平成 23 年度は、新宮市立医療センター改革プランで定めた収支状況の黒字化達成目標年度であり、改革プラン策定以降は収支状況の改善に向け、さまざまな施策を実行した結果、ようやく収支の黒字化を達成する見込みとなりました。

今後は、平成 23 年度で開院より 10 年が経つことから、大型医療機器の更新を図ることで更に医療の質を向上させ、紀南地方の中核病院としての役割を果たしながらも、より良い経営状況を保ち、地域の患者さまから頼られる病院づくりを目指します。

収支計画の状況

1. 収益的収支

(単位:百万円、%)

区分	年度	平成 22 年度			平成 23 年度		
		プ ラ ン	実 績	差 引	プ ラ ン	見 込	差 引
収 入	1. 医 業 収 益 a	5,933	5,712	△ 221	6,001	5,923	△ 78
	(1) 料 金 収 入	5,582	5,372	△ 210	5,648	5,566	△ 82
	(2) そ の 他	351	340	△ 11	353	357	4
	うち他会計負担金	119	122	3	119	122	3
	2. 医 業 外 収 益	274	332	58	269	328	59
	(1) 他会計負担金・補助金	232	285	53	227	281	54
	(2) 国 (県) 補 助 金	3	6	3	3	3	0
	(3) そ の 他	39	41	2	39	44	5
	経 常 収 益 (A)	6,207	6,044	△ 163	6,270	6,251	△ 19
支 出	1. 医 業 費 用 b	5,888	5,762	△ 126	5,920	5,898	△ 22
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,823	2,764	△ 59	2,823	2,810	△ 13
	(2) 材 料 費	1,469	1,352	△ 117	1,487	1,443	△ 44
	(3) 経 費	1,169	1,218	49	1,177	1,211	34
	(4) 減 価 償 却 費	408	406	△ 2	414	408	△ 6
	(5) そ の 他	19	22	3	19	26	7
	2. 医 業 外 費 用	327	331	4	330	319	△ 11
	(1) 支 払 利 息	164	164	0	157	157	0
	(2) そ の 他	163	167	4	173	162	△ 11
	経 常 費 用 (B)	6,215	6,093	△ 122	6,250	6,217	△ 33
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 8	△ 49	△ 41	20	34	14
	特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)			0		8
2. 特 別 損 失 (E)		3	7	4	3	20	17
特 別 損 益 (D)-(E) (F)		△ 3	△ 7	△ 4	△ 3	△ 12	△ 9
純 損 益 (C)+(F)	△ 11	△ 56	△ 45	17	22	5	
累 積 欠 損 金 (G)	△ 2,211	△ 2,305	△ 94	△ 2,194	△ 2,283	△ 89	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	2,077	2,255	178	2,170	2,469	299
	流 動 負 債 (イ)	337	328	△ 9	340	340	0
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引 不良債務 (オ)	△ 1,740	△ 1,927	△ 187	△ 1,830	△ 2,129	△ 299	
単年度資金不足額(※)	△ 72	△ 139	△ 67	△ 90	△ 202	△ 112	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	99.9	99.2	△ 0.7	100.3	100.5	0.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.8	99.1	△ 1.7	101.4	100.4	△ 1.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	47.6	48.4	0.8	47.0	47.4	0.4	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
地方財政法上の資金不足の 割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上 の資金不足比率							
病 床 利 用 率	85.5	80.4	△ 5.1	82.0	82.0	0.0	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

2. 資本的収支

(単位:百万円、%)

区分	年度	平成 22 年度			平成 23 年度		
		プ ラ ン	実 績	差 引	プ ラ ン	見 込	差 引
収 入	1. 企 業 債	100	102	2	100	116	16
	2. 他 会 計 出 資 金	232	272	40	237	276	39
	3. 他 会 計 負 担 金						
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国 (県) 補 助 金		200	200		2	2
	7. そ の 他					27	27
	収 入 計 (a)	332	574	242	337	421	84
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入 金 (c)						
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	332	574	242	337	421	84	
支 出	1. 建 設 改 良 費	105	310	205	105	121	16
	2. 企 業 債 償 還 金	523	523	0	542	528	△ 14
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他	50		△ 50	50		△ 50
	支 出 計 (B)	678	833	155	697	649	△ 48
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	346	259	△ 87	360	228	△ 132	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	346	259	△ 87	360	228	△ 132
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金						
	4. そ の 他						
	計 (D)	346	259	△ 87	360	228	△ 132
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)							
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)							

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	平成 22 年度			平成 23 年度		
	プ ラ ン	実 績	差 引	プ ラ ン	見 込	差 引
収 益 的 収 支	()	(1,155)	(1,155)	()	(1,257)	(1,257)
	351,152	406,291	55,139	346,851	402,511	55,660
資 本 的 収 支	()	()	()	()	()	()
	232,469	271,567	39,098	236,770	275,631	38,861
合 計	()	(1,155)	(1,155)	()	(1,257)	(1,257)
	583,621	677,858	94,237	583,621	678,142	94,521

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。